

大苗育苗と「流線型仕立」によるニホンナシの早期成園化

農業研究部・果樹グループ

1. 研究の背景

大分県のニホンナシ産地では、老木園の改植や新品種への更新が迫られているが、従来の3本主枝仕立てでは成園並収量が採れるまで7年以上、樹形が完成するまでに12年以上かかるために改植が進まない。このため、改植後の未収益期間を短縮する早期成園化技術が求められている。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

5mの2年生大苗を用いることで、最短で植え付け3年目に成園並収量が得られる。

ナシ「流線型仕立」植付け3年目の収量と果実品質(2013)								
品種	仕立法		樹齢	幹周	1樹収量	10a換算収量	果実重	糖度
				(cm)	(kg)	(kg)	(g)	(Brix)
なつしづく	流線型	平均値	5	21.3	27.7	3,162	278	12.4
		最多収量樹	5	21.5	39.3	4,484	294	12.3
		最少収量樹	5	20.5	21.1	2,408	278	12.9
	成園(慣行)	平均値	14	46.0	52.4	3,300	352	12.8
あきづき	流線型	平均値	5	22.3	45.7	5,206	379	12.9
		最多収量樹	5	23.0	54.0	6,155	391	12.7
		最少収量樹	5	21.0	36.9	4,210	355	12.8
	成園(慣行)	平均値	14	55.0	82.5	5,200	481	11.5

注) 10a当たり植栽本数は流線型仕立は114本、慣行63本
供試本数「なつしづく」、「あきづき」各9樹

目標収量 なつしづく 3t
 あきづき 5t



側面から見た植付け一年目の「流線型仕立」



「あきづき」の結実状況

3. 期待される効果

- ・老木改植による生産性向上、新品種の導入促進
- ・新規参入の増化

4. 担当機関連絡先

農業研究部果樹グループ ナシ・ブドウチーム
TEL : 0978-37-0149
住所 : 宇佐市大字北宇佐65